

## V. 教育の実施体制

## 1. 教員組織

### (1) 教員数・構成 (2012年5月1日現在)

#### 1) 専任教員数

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数 ( )内は教授数	助手	副手・補助職員・技術職員等	備考
	教授	准教授	講師	助教	計				
情報処理学科	4	3	0	0	7	7 (3)	0	0	
国際文化学科	7	2	2	0	11	5 (2)	0	0	
(小計)	11	5	2	0	18	12 (5)	0	0	
学科外所属	0	0	0	0	0		0	1	
(合計)	11	5	2	0	18	4 (2)	0	1	

\* 設置基準で定める教員数 (合計) 欄には、短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数 (第22条別表第1のロ) を記載している

#### 2) 専任教員年齢構成

区分	専任教員 (助教以上) 年齢構成							助手等の平均年齢	備考
	70以上	60~69	50~59	40~49	30~39	29以下	平均年齢		
両学科 合計 18人	0	7	6	2	3	0	53.8		

#### 3) 専任教員名簿

職名	氏名	(学) 東海大学 採用年月日	福岡短期大学 発令年月日	現職発令 年月日
学長	西野 仁	78.4.1	10.4.1	12.4.1
情報処理学科	主任・教授	矢原 充敏	93.4.1	93.4.1
	教授	伊津 信之介	80.4.1	94.4.1
	教授	斎藤 守正	74.4.1	92.4.1
	教授	佐竹 則昭	07.4.1	07.4.1
	准教授	宮川 幹平	03.4.1	03.4.1
	准教授	八尋 剛規	92.4.1	92.4.1
	准教授	赤井 ひさ子	92.4.1	92.4.1
国際文化学科	主任・教授	西野 仁	78.4.1	10.4.1
	副主任・教授	神山 高行	93.4.1	93.4.1
	教授	亀田 俊隆	12.4.1	12.4.1
	教授	林 鍾大	11.4.1	11.4.1
	教授	藤本 幸男	12.4.1	12.4.1
	教授	真下 仁	90.4.1	90.4.1
	教授	宮内 順	00.4.1	00.4.1
	准教授	ウェア ジーン リー	12.4.1	12.4.1
	准教授	チョウ アンナ	07.4.1	07.4.1
	講師	岡本 武志	12.4.1	12.4.1
講師	北濱 幹士	04.10.1	04.10.1	

## (2) 教員の授業担当数 (2012 年度)

### 1) 専任教員担当授業数

所属	総コマ数 (年間)	教員一人当たりの担当持ちコマ平均 (1 週間)				
		全体平均	教授	准教授	講師	助教・助手
情報処理学科	39.7	5.7	5.3	6.2		
国際文化学科	64.0	5.8	5.5	7.9	4.9	
計	103.7	5.8	5.4	6.9	4.9	

### 2) 兼任教員 (非常勤教員) 担当授業数

科目種別	総コマ数 (年間)
両学科共通科目・補助科目	2
情報処理学科専門科目	1
国際文化学科専門科目	6.5
計	9.5

## 2. 教育環境

### (1) 校地面積等

- 校地面積 77,714.71 m<sup>2</sup> (登記簿謄本上面積)
- 建物面積 11,605.01 m<sup>2</sup> (登記簿謄本上面積)
- 建物別・用途別面積 (学校基本調査上面積) (単位: m<sup>2</sup>)

	1号館	2号館	3号館	部室	守衛室	エネルギー棟	体育倉庫	プロパン庫	コモンホール	合計
階数	6	5	2	2	1	2	1	1	3	
床面積	3,962.07	4,222.80	1,220.00	297.82	28.94	181.30	38.03	7.50	1,646.55	11,605.01

#### 【内訳】

講義室	1,338.00	1,198.47	-	-	-	-	-	-	-	2,536.47
演習室	-	652.40	394.17	-	-	-	-	-	-	1,046.57
実験室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演習室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
研究室	349.86	245.70	-	-	-	-	-	-	-	595.56
管理関係その他	1,952.35	1,270.43	94.83	-	28.94	181.30	-	7.50	-	3,535.35
学生会館	226.24	-	731.00	-	-	-	-	-	-	957.24
課外活動施設	-	-	-	198.15	-	-	-	-	-	198.15
図書館	-	855.80	-	-	-	-	-	-	-	855.80
講堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体育施設	-	-	-	99.67	-	-	38.03	-	1,646.55	1,784.25
附属研究室	95.62	-	-	-	-	-	-	-	-	95.62
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## (2) 教室環境とその整備体制

号館	階	教室名	整備状況
1号館	3階	1302 教室	特に無し
		1303 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		1304 教室	特に無し
		1305 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		1306 教室	特に無し
		1307 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
	4階	1401 教室	特に無し
		1402 教室	特に無し
		1403 教室	特に無し
		1404 教室	特に無し
		1405 教室	特に無し
		1406 教室	特に無し
	5階	視聴覚教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 テレビ (BS 放送受信可)
L L 教室		プロジェクター有	
2号館	1階	2102 教室	特に無し
	3階	コンピュータ実習室 1	コンピュータ 52 台、電子黒板システム プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 2	コンピュータ 32 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 3	コンピュータ 26 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD、VHS、DV、HDD ビデオレコーダー有
		コンピュータ実習室 4	コンピュータ 21 台、電子黒板システム プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 5	コンピュータ 8 台 MIDI コントローラ、USB ミキサー、ボーカルマイク、 CDJ、DAW・総合音源、VOCALOID 初音ミク使用可
	4階	ゼミ室 2・3	移動マイクアンプ有
	5階	2501 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		2502 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD、VHS、MD 有 (別付けデッキ)

## (3) 整備状況

※ (10 万円以上の設備・工事)

### 1) 設備

#### a. 学生貸与パソコン購入

ネットワークのインフラ整備が進み、モバイルコンピューティングの時代と言われる現代社会において、IT教育も変革の時を迎えている。そのような時代背景の中で、実社会においてはPC活用におけるトラブル解決能力、インターネットを介しての情報分析能力、あるいは調査結果をまとめ上げ、動画や音声を自由に扱い、これらを融合してプレゼンテーション資料を構成する能力等が強く求められている。

これらの能力育成には、旧来のように完全に設定済みのデスクトップパソコン中心の教育では困難

であり、ノート PC を常備させ、日々の教育の中で常に活用させることが必要不可欠である。

また、2012 年度カリキュラムより実践活動を中心としたプロジェクト学習（卒業研究）が全学的にスタートするが、これを推進していく上でもノート PC の活用は極めて重要である。以上から、新入生に貸与するノート PC の購入が必要である。以上から 2011 年度より新入生に貸与するノート PC を購入し 2 年目を迎えた。

#### b. プロジェクト学修支援機器の購入

2012 年度カリキュラムにプロジェクト学修を導入したことに伴い、プロジェクト学修を実施する上で、必要な機器を導入した。

導入機器：iMac (3.4GHz クアッドコア Intel Core i7 モデル) 3 台

#### c. コンピュータ管理室機器更新

コンピュータ管理室のルーターとファイアウォールの規格が古く保守契約できない（メーカーによる）ため、機器を新規更新した。

導入機器：ルーター（CentreCOM AR560S-Z5 (0645RZ5)）

ファイアウォール（SSG140、8\*10/100FE、2\*10/100/1000）SSG-140-SH

#### d. 1303 教室 AV システム更新

本学でプロジェクターが使用できる教室のうち、1307 及び 2501 教室は、2011 年度にワイヤレスシステムを導入し、AV ラック内において映像・音声・PC・LAN 切替が容易にできるようになった。プロジェクター設置教室は使用頻度が多いので、1303 教室にも同様のシステムを導入した。なお、プロジェクターとスクリーンは、1406 教室の既存の機器を移設した。

#### e. 2501 教室プロジェクター設備更新

2501 教室のプロジェクターは、設置後 11 年を経過した。9 月末に映像の変色やブレなどが発生したので、メーカーに修理を依頼したが、修理不能という結果だったので新規にプロジェクターとスクリーンを導入した。

#### f. 情報（CG 系）ソフトウェア購入

情報処理科では新たな魅力の創出に向けて、高校生に人気の高いアニメーション、コンピュータグラフィックス（CG）を中心としたデジタルアートの分野を強化し、学生募集につなげていく方針を固めた。その方針に向けて、2012 年度秋学期よりこの分野に新たな教員を採用し、その実現に向けて動き出した。そのため情報処理科の新しい教育展開とデジタルアート分野の強化に向けた環境整備を目的として、ソフトウェアを購入した。

導入ソフト：

[1] CAD 用ソフト Auto CAD Design Suite Ultimate 2013 Education New SLN 5 本

[2] グラフィック用ソフト 教育/TLP MLP CS6 Production Premium LV1

## 2) 施設

### a. 2 号館地下井戸ポンプ取替修繕工事

8 月 16 日（木）に宗像地区に落雷があり、2 号館井戸の地下ポンプが故障したので、取替修繕工事を実施した。

### b. 1 号館屋上看板塗装工事

1 号館屋上看板は、開学時の 1990 年度に設置され 23 年目を迎え、文字面の塗装が落ちて、看板を支える土台の腐食や錆も出ており、危険だったので塗装を施し、看板文字の書き直しを行った。

### c. 3 号館食堂厨房内「業務用コンロ」取替工事

3 号館食堂厨房内のガスコンロは短大設立時に設置され、23 年を経過し、コンロの腐食によりガスの噴出し口が破損しガス漏れが懸念されたので、取り替えた。

d. コモンホールアリーナ バスケットライン引替工事

2011年4月1日よりバスケットボール競技のルール改正が行われ、2013年3月までにラインの引替を行わなければならなかったため実施した。

e. ホストコンピュータ室「空調室外機」修繕工事

ホストコンピュータ室の空調設備は2004年度に2台導入したが、圧縮機等の故障により1台での運転となっていたので、ホストコンピュータ室の管理機器を維持するため、修繕工事を実施した。

f. 1号館1階 男女化粧室（トイレ）大便器改修工事

本学には身障者用トイレにしかウォシュレットが設置されていないので、使用頻度の高い1号館1階の男女化粧室（各1箇所）を和式便座から様式便座に変更し、ウォシュレットを取り付けた。

### 3. メディア情報環境

#### (1) 図書館

##### 1) 概要

図書館の概要は次のとおりである。

#### 2012年度 図書館の概要

床面積	855,00m <sup>2</sup>
書架棚総延長	2040m
収容能力	80,000冊
奉仕対象学生数	156人
座席数	120席
蔵書数	75,920冊
視聴覚資料	2,559点
予算	2,810,000円
開館時間（通常 月～金）	10:00～18:00
開館時間（通常 土）	10:00～16:00
開館日数	251日
入館者数	8,897人
一日平均入館者数	35人
学生貸出冊数	754冊
学生一人当たり貸出冊数	5冊
外部貸出冊数	7冊

図書・雑誌・視聴覚資料等の蔵書詳細は以下のとおりである。

#### 和書・洋書総蔵書冊数

和書	洋書	合計
69,631冊	6,027冊	75,658冊

#### 2012年度受入蔵書冊数

	和書	洋書	合計
購入	519冊	2冊	521冊
寄贈	3冊	0	3冊
視聴覚	0	0	0
合計	522冊	2冊	524冊

雑誌総所蔵数

和雑誌	洋雑誌	合計
454 種	57 種	511 種

2012 年度受入雑誌種数

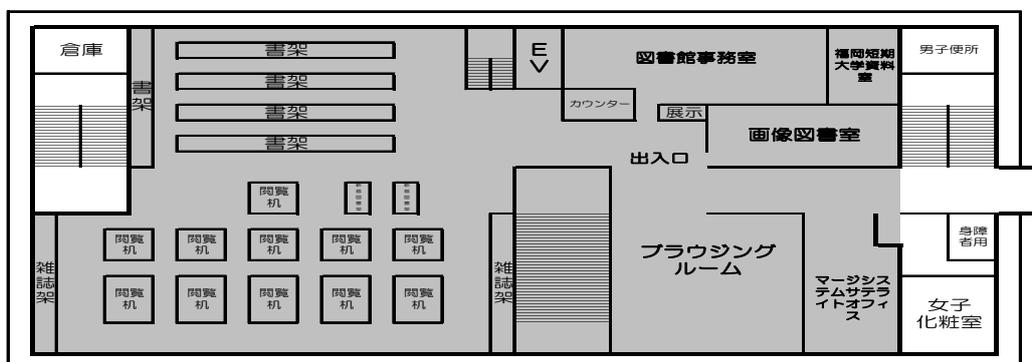
和雑誌	洋雑誌	合計
229 種	11 種	240 種

視聴覚資料総数

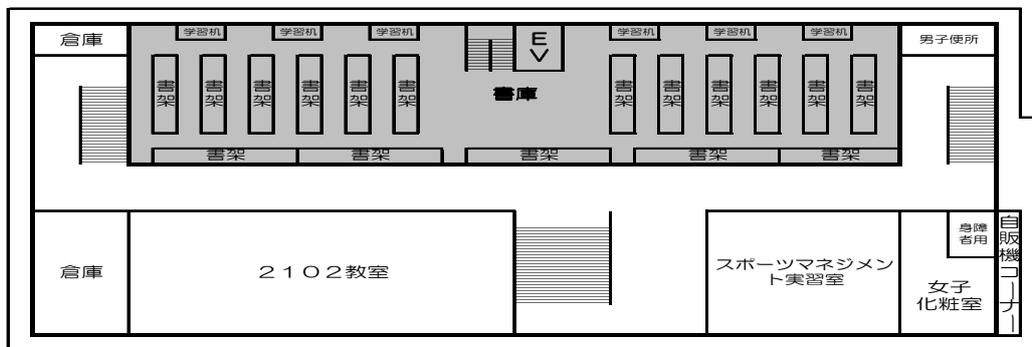
ビデオ	LD	DVD	CD	カセット
1,326	183	357	565	128

また、全体配置図は以下のとおりである。

フロアガイド



2号館 2階



2号館 1階

(機器設備の配置状況)

図書館は本学 2 号館の 1 階と 2 階に配置されている (上記表及び図参照)。図書・図書資料の配置に関して、規定分類に基づく書庫のほか、新着図書や学科推奨図書に関しては、2 階閲覧機のそばに専用の書架を設置して、学生の利便性向上を図っている。なお、これらに配架された図書・図書資料については、古くなったものや優先度が低くなったものから随時書庫に移動している。画像図書室には、VHS・DVD・CD 等が視聴可能な機器を 12 セット備えており、各種語学・資格試験講座・視聴覚教材をはじめ、各種の音楽や映画等を視聴することができるほか、ヘッドホンの貸し出しも行っている。ブラウジングルームは、飲食・雑談可能なスペースとして学生に開放しており、利用率も高い。その他の設備として、コピー機 1 台がある。パソコンは、事務用 3 台のほか、利用者の図書検索用として 1 台を学生に常時開放しており、いずれも学内 LAN に接続している。また、貸与ノート PC や個人所有のスマートデバイスから利用できる無線 LAN アクセス環境を全館に整備し、インターネットを利用した学習促進を図っている。

#### (図書館システムと情報化)

本学単独のシステムとしては稼働しておらず、東海大学が運用する図書館情報システム (iLiswave:TIME) を、東海大学中央図書館とのインターネット VPN 接続を介して利用している。なお、蔵書検索には OPAC を用いている。東海大学附属図書館所蔵書誌データベースと国立情報センター目録情報システムをベースとした遡及入力作業も順調に推進しており、今年度までに 38,875 件 (51.5%) 完了している。また、図書館 Web ページを公開しており、開館情報の確認や図書検索が行えるようにしている。

#### (図書の購入・廃棄)

2012 年度の図書予算は 2,810,000 円であり、内、図書費・図書資料費は 2,380,000 円である。図書の購入は、教職員の希望、学生の希望を優先しながら、適宜、ウィークリー出版情報等の図書カタログから図書館職員が選定している。これらの選定図書については、本学の教育及び研究活動に対する有用性について十分に留意し、また学生の希望も勘案の上、図書館館長の承認を得て購入している。また、資格関連の図書は毎年内容が更新されることから、教員からの希望を踏まえながら、定期的な購入を行っている。

廃棄図書については、以下に示す固定資産とした資料に関して、除籍資料明細書を作成し、図書館館長より所定の手続きを経て、学長の決裁の上、除籍する。

- (1) 紛失資料で所在不明となって 3 年を経過したもの
- (2) 破損・汚損・摩擦等が甚だしく補修不能なもの
- (3) 資料価値を失ったもの
- (4) その他図書館館長が除籍を適当と認めたもの

除籍・抹消した資料については、所定の手続きにより破棄する。

#### (図書館の運営)

図書館の運営を担うスタッフは、図書館館長 (教員)、臨時職員 1 名、常勤職員 1 名、学生スタッフ 10 名 (学内公募) から構成される。なお、常勤職員は進路支援業務と兼務しているため、臨時職員と学生スタッフが図書館における日常業務の軸となる。また、図書館の運営方針については、図書館運営委員会 (図書館館長を含む教職員 4 名から構成) において審議・検討がなされる。

#### (学生の利用促進への取組み)

全学生に毎年配布しているキャンパスガイド内に、図書館利用ガイドを記載しているほか、入学時オリエンテーション及び全体ガイダンスにおいて、図書館の概要と基本的な利用方法を案内している。また、1 年生を対象としたフレッシュマンゼミナールにおいて、短大での学修活動に図書館をどのように活かすか、レポート制作や文献調査活動を通じた実践的な指導を行っている。これらのほか、図書・図書資料リクエストを始めとした利用者の要望を聴く「投書箱」を設置し、学生が利用しやすい環境を整えている。

#### (他大学、地域との連携)

本学は、国立情報学研究所 (NACSIS) に参画しており、他大学との図書館相互貸借を行っている。また、「福岡県・佐賀県大学図書館協議会」、「西日本図書館学会」のメンバーとして、近隣大学とも積極的な取組みを行っている。

地域との連携では、本学の所在する宗像市における「むなかた大学のまち協議会」に参画しており、市民図書館、同市内の福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学との間で図書館相互貸借を実施している。その他、一般市民に対しても図書館を開放しており、図書の貸出サービスを実施している。

2012 年度の相互貸借状況は以下のとおりである。

#### 他図書館との相互協力状況

相互貸借件数		文献複写件数	
本館からの貸出冊数	他館からの借受冊数	他館からの受付件数	他館への依頼件数
5	3	0	2

(学生の利用状況)

学生の利用頻度は、2012年度総入館者数 8,897 人、画像図書室利用総数 99 人、貸出冊総数 929 冊となっている。学生の閲覧頻度が高い図書については複数冊購入しているが、これらの図書の閲覧時期が集中するため、希望図書を閲覧できないこともある。また、図書閲覧室の利用時期についても、検定試験前あるいは定期試験時期に集中する傾向があり、これらの時期は閲覧席が満席に近い状態となることがある。それ以外の時期は、1割程度の利用であり、夏期・春期休暇中の利用者は非常に少ない。

画像図書室の利用は、授業実施時期に集中しており、2012年度利用者は 99 名(2011年度 296 名)であった。現時点で座席数等の問題はないが、昨年度に比べて利用者数が大きく減少している原因として、貸与ノート PC と全学における無線 LAN 環境整備により、画像図書室に限らずとも各種メディアの利用が可能になったことが大きいと考えている。ブラウジングルームについては、利用頻度が極めて高く、時間帯によっては席が無いこともある。

## 2) 現状の問題点と改善に向けての取組み

学生による図書館利用の状況は、飲食も可能で休憩・談話のスペースとして活用されているブラウジングルームを除き、極めて低調であると言わざるを得ない。学期末・定期試験前の利用においても、学生数の減少だけでは説明がつかない程の利用減少傾向が見える。

これは、インターネットの日用品化をはじめ、スマートフォンやタブレットに代表されるスマートデバイスの普及、ノート PC の配布や学内無線 LAN 環境の整備等により、学習場所の自由度が向上するなど、学生の学習スタイルそのものに大きな変化が生じていることが背景にあると考えている。

しかしながら、いかに時代が変わろうとも、学習・教育・研究活動のための多様な文献・資料の揃う図書館の本質的な価値が減じているわけではない。静謐(せいひつ: 静かで落ち着いていること)な学習環境と有益な図書・図書資料の整備という伝統的な図書館の姿を維持しながら、プラスアルファの発想のもと、本学が教育の軸としておくプロジェクト学習をはじめとした能動的学習(アクティブラーニング)の推進に寄与できるような環境整備が必要と考えている。具体的には、デジタル教材や電子書籍の導入、個人学習・グループ学習スペースの構築、授業担当教員との連携などを推し進め、本学図書館ならではの魅力を学生に提示していくことが肝要である。

## (2) コンピュータ実習室

### 1) 概要

2006年度に行った基幹スイッチ・サーバ、クライアントの更新に伴い、実運用と照らし合わせたシステムの改善を進めつつ、安定稼働に努めた。また、文部科学省の現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム(現代 GP)の採択(2005~2006年度)により導入されたサーバ、コンテンツについても引き続き運用を行い、教育効果を高めた。

### 2) 業務内容

#### a. コンピュータ実習室管理

新システムの教育環境の改善と安定稼働を目指し、情報システム室の担当職員を中心に委託業者を加え作業を行った。セキュリティ対策として導入したログ収集ソフトウェア、Web カメラ等を運用し、一定の効果を上げた。

#### b. コンピュータ実習室運営

コンピュータ実習室は午前 9 時から午後 7 時まで開館している。午後 5 時以降の業務は主に学生スタッフ(学生アルバイト)で対応した。

5 つあるコンピュータ実習室は授業優先で利用され、その他空き時間は学生が自由に利用できる。この間の利用サポートは情報システム室職員により行われる。特に、MS-Office をはじめ学生たちのレポート作成にかかわるサポート、プリンター出力時のトラブルに関するサポートを中心に行われた。情報システム室職員には、パソコン利用に関する幅広い知識が要求された。

### c. Web ページ管理

下記に挙げる各 Web ページの維持管理を行った。

- 学外向けかわら版 Web ページ( <http://cms.ftokai-u.ac.jp/> )
- 学生ポータル Web ページ( <http://home.ftokai-u.ac.jp/> )
- 業務ポータル Web ページ ( <http://info.ftokai-u.ac.jp/info/> )
- ケータイ向け Web ページ( <http://m.ftokai-u.ac.jp/i/> )

学生ポータル Web ページには、授業情報、休講情報、就職情報、編入情報など、学生たちが学生生活に必要な情報が掲載されている。

### d. 維持管理

情報システム室のホスト室には MS-Windows 系サーバが 8 台 (ドメインコントローラ、ファイルサーバ、データベースサーバなど)、UNIX 系サーバが 16 台 (Web サーバ、データベースサーバ、キャッシングプロキシサーバ、メールサーバ、Web コンテンツサーバ、NTP サーバなど) 設置されており、これらのマシンが本学の ICT 化の根底を支えている。これらサーバマシンを 24 時間体制で監視・維持していく必要がある。

### e. 他部署 ICT 化補助

ICT 化が進む学内部署において、システム側の作業は順調に進んでいるが、利用率の伸びは鈍い状況である。利用者がこれらを有効利用するためには、システムの操作方法などの把握が不可欠である。このため、利用者に対し必要な補助を行った。

### f. 各種情報のオンライン化

学生カルテ、出張上申、学事伝票、業務日報の電子化・データベース化を継続して行った。

### g. 福岡キャンパス各組織 (付属第五高校、付属自由ヶ丘幼稚園) の支援活動

同一キャンパス内に設置されている付属第五高等学校、付属自由ヶ丘幼稚園の ICT 環境のサポートを行っている。両組織とも ICT に関する専門職員が不在であり、短大情報システム室の技術職員が技術支援・運用支援を行っている。また、一部の業務については福岡短大のシステムを利用している。

## 3) ネットワーク構成

### a. 学内 LAN

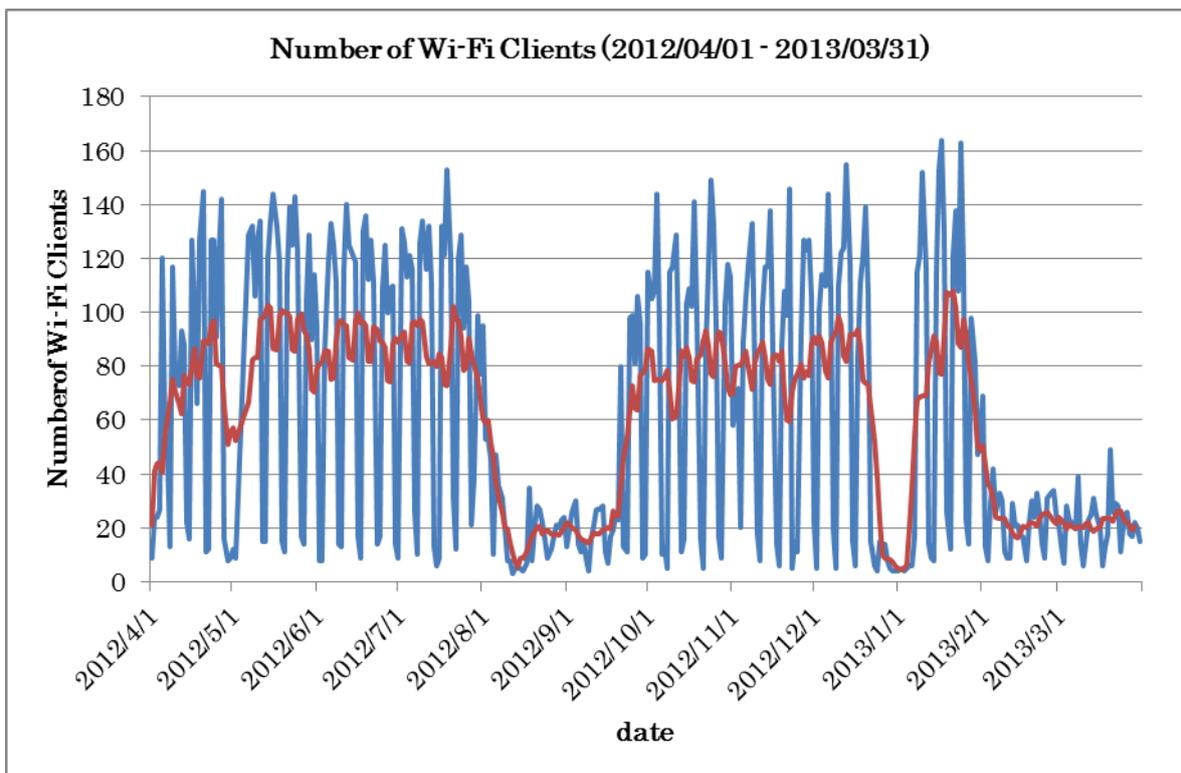
基幹 LAN は 20Gbps、また、各教室、研究室は最大 1Gbps の LAN を提供している。

### b. 無線 LAN

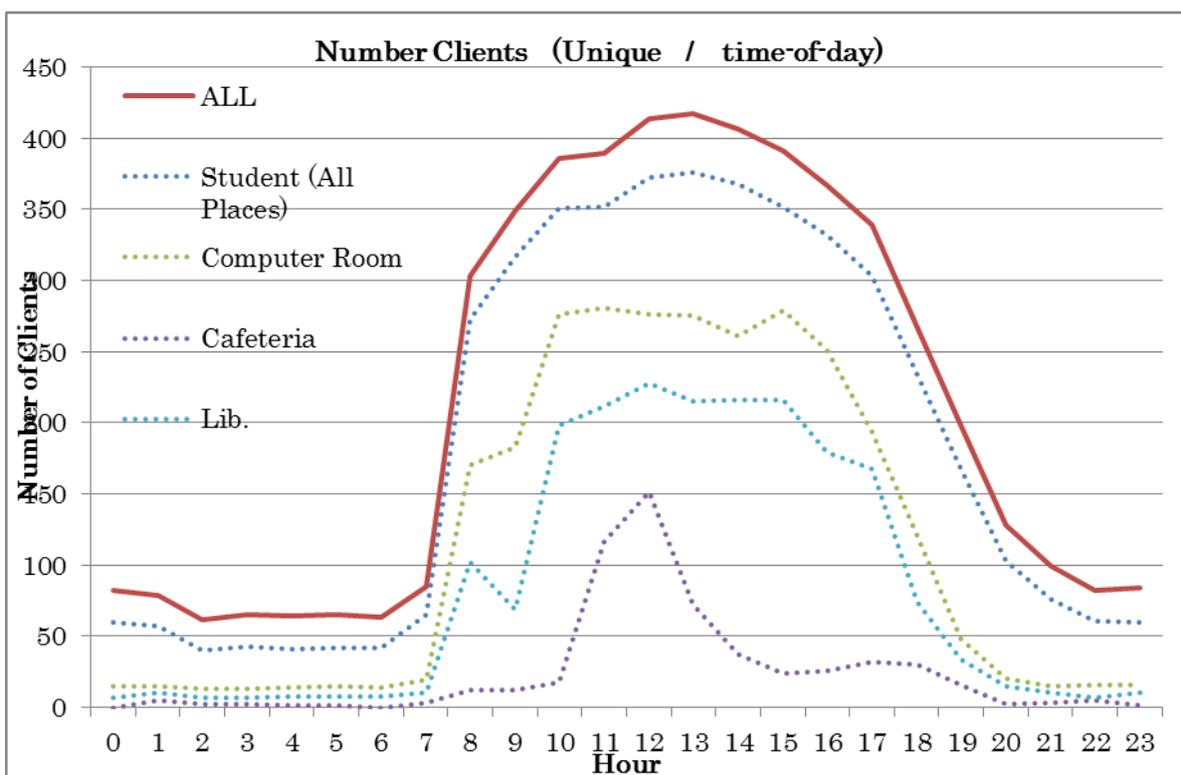
2011 年度入学に無償貸与しているノート型 PC の活用促進を図るため、コンピュータ実習室の机の上に電源コンセントの設置、2 号館 3F(コンピュータ実習室)、2 号館 5F(2501, 2502 教室)に学生ノート PC を収容する無線 LAN のアクセスポイントの設置を行った。

また、2012 年 3 月に無線 LAN のサービスエリアを全学に拡大する拡張工事を行い、2012 年 4 月より本格稼働を行った。アクセスポイントは学生に貸与しているノート PC だけでなく、個人所有の無線端末機器の接続も許可している。このため接続クライアント数が在籍学生数を上回っている。

設置アクセスポイント数	39 か所
接続クライアント数	478 端末 (内 学生利用 410 端末)
最大利用数	202 端末 (2012.05.16 および 2012.05.23 に記録)



青：1日平均 赤：1週間平均



c. 対外接続

本学の対外接続は SINET 100Mbps, SuperOCN 3Mbps, BBIQ 100Mbps で行っている。SINET は媒体として NTT B フレッツ を利用し安価に高速回線を確保できている。主にメールの送受信、学外から学内情報へのアクセスに利用している。SuperOCN 3Mbps の回線帯域はさほど広くないものの、OCN バックボーンに直結している高品質回線であり、遅延が非常に少なく、また高信頼性を誇る。このため、本学のメイン Web サーバや、学内実習用 UNIX サーバへの学外からのアクセスに利用している。BBIQ100Mbps はグローバル IP を ISP から DHCP によって割り当てられる回線であり、学内情報を学外に提供する回線としては利用が難しい。よってこの回線は学内端末から学外への Web アクセスに利用している。